２０１２年（平成２４年）１月２５日　水曜日

デーリー東北新聞　掲載

スケートインターハイ　群馬

―最終日

2000男子リレー　光星、県高校新9位

女子1500　松尾（八戸工）11位

第61回全国高校スケート・アイスホッケー選手権最終日は24日、群馬県渋川市でスピード、アイスホッケーを行い、全日程を終了した。スピードは、女子1500㍍の松尾優（八戸工）が2分13秒16で11位と、わずかに入賞に届かなかった。男子同では金旗竜聖（光星）が青森県勢最高の13位。男子2000㍍リレーでは、光星が県高校新をマークしたものの、9位で入賞を逃した。優勝した白樺学園（北海道）は2分24秒70で、昨年の日本学生氷上選手権（釧路）で池田晋一朗（八戸高出、現・神奈川スケートリンク）らの日大がマークした日本記録（2分24秒94）を塗り替えた。アイスホッケー決勝では、駒大苫小牧が延長の末に白樺学園を5－4で破り、2年連続28度目の優勝を果たした。

来年のインターハイは、スピードが北海道釧路市、フィギュアが神奈川県横浜市で開催。アイスホッケーは未定となっている。

（田川しのぶ、佐々木明）

【男子2000㍍リレー】光星は2走松川昌紀（左）から3走長根仁にバトンをつなぐ＝伊香保屋外リンク

スピード

力出し切った

○…男子2000㍍リレーでは光星が県高校新で9位。八戸商が1996年に同じ会場でマークした従来の記録を、16年ぶりに0秒11更新した。入賞には届かなかったが、メンバーは「自分たちのチームとしては、結構頑張れたかな」と納得の様子だった。

「練習してない割には、スムーズなレースができた」と3走長根に5大会直前までそれぞれが個人種目に集中し、リレーの練習はしなかった。本番では、オーバーゾーンによる失格や転倒が相次ぐ中、光星は無難にバトンをつないだ。佐々木良幸監督は「一人一人が力を出し切ったと評価した。

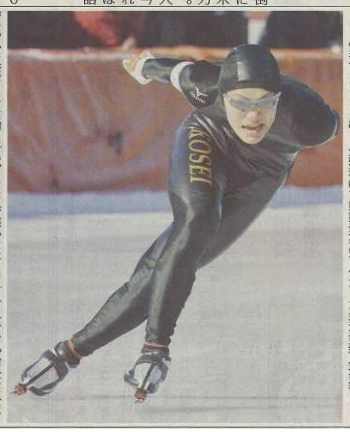
1年生2人、2年生2人の若いチームで、来年は今大会以上の順位が期待される。1走遠藤翔は「あとは一人一人の実力次第」と話していた。

ここまで悪いとは…

○…スピード男子1500㍍では、金瀧竜聖（光星）が1分59秒03で県勢最高の13位。力を出し切ることができず、入賞ラインに約1秒届かなかった。「タイムも、ここまで悪いとは…」と肩を落とした。

練習での手応えから、目的にも全然だめ。悪くて（1分）57秒前後を狙っていた。ただ、本番ではスタートから感じるように脚が動かず「スピードに乗ることができないままにレースを終えてしまった」。

「1周目で突っ込めなかった。1100㍍（のラップ）でいいところまで行っていないと、（好タイムは）狙えない」と反省。「2月の全国高校選抜大会までまだ時間がある。スケーティングを直したい」と気を引き締めていた。



【男子1500㍍】1分59秒03で県勢最高の13位だった金瀧竜聖（光星）

＝スピードスケート最終日成績＝

【男子】

▷1500㍍

①近藤　太郎（北海道・駒大苫小牧）　1分53秒45
②小坂　龍（北海道・白樺学園）　1分55秒13
③池田　崇将（白樺学園）　1分55秒98
⑬金瀧　竜聖（光　星）　1分59秒03
㉗西舘　裕貴（百　石）　2分7秒53
㊸石鉢　雄哉（八戸商）　2分9秒81
㊽川口　光（光　星）　2分10秒80
㊿村山　達哉（八戸商）　2分13秒82
55小向　啓太（八戸工）　2分19秒79

▷2000㍍リレー

①白樺学園（長谷川、池田、荻野、三輪）　2分24秒70
＝日本新、高校新、大会新、リンク新
②爛　恋（群　馬）　2分28秒50
③帯広農（北海道）　2分28秒59
⑨光　星（漆澤、松川、長根、金瀧）　2分37秒95
＝青森県高校新

▷学校対抗得点　①白樺学園69点②駒大苫小牧44点③爛恋33点⑱光星3点㉑八戸商2点㉕八戸西1点㉘八戸工1点

【女子】

▷1500㍍

①樋　沙織（爛　恋）　2分7秒06
②谷垣　彩香（北海道・帯広南商）　2分9秒75
③長屋　千夏（駒大苫小牧）　2分10秒66
⑪松尾　優（八戸工）　2分13秒16
㉖丹波佳奈美（光　星）　2分18秒80
㊻川口　愛（光　星）　2分26秒22
㊽柳町　素子（八戸商）　2分28秒09
㉗西山　明星（八戸商）　2分28秒65

▷2000㍍リレー

①白樺学園（壮本、桜井、米田、高橋）　2分42秒50
②駒大苫小牧（高山菜、土屋、橋井、高山梨）　2分43秒51
＝以上リンク新
③帯広南商　2分46秒37

▷学校対抗得点　①駒大苫小牧59点②帯広南商34.5点③白樺学園32.5点⑱八戸工2点

デーリー東北新聞社提供